

The Sky is *Yours*

見上げる空から、挑む空へ。



RECRUITING

一般職（行政/事務）採用担当窓口

東京航空局

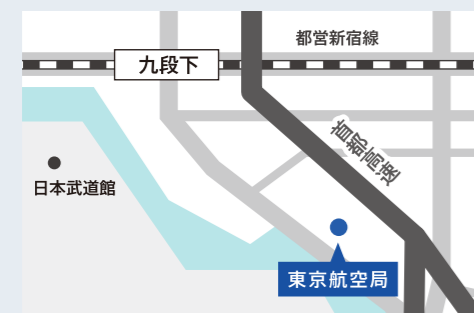
人事課 人事第一係

〒102-0074
東京都千代田区九段南1-1-15
九段第2合同庁舎 13F

☎ **03-5275-9308** (直通)

Access

東京メトロ東西線・半蔵門線、都営地下鉄新宿線
「九段下駅」◎番出口から徒歩5分



WEBサイトはこちらからアクセス
<https://www.cab.mlit.go.jp/tcab/>



大阪航空局

人事課 人事第一係

〒540-8559
大阪市中央区大手前3-1-41
大手前合同庁舎 12F

☎ **06-6937-2704** (直通)

Access

大阪メトロ谷町線・中央線
「谷町四丁目駅」1B出口徒歩2分



WEBサイトはこちらからアクセス
<https://www.cab.mlit.go.jp/wcab/>



本紙掲載の記事・写真・イラストを無断で
複写及び転載することを禁じます。

2026.03

航空局

CIVIL AVIATION
BUREAU

一般職（行政/事務）採用案内

RECRUITING BOOK



The Sky is *Yours*

見上げる空から、挑む空へ。



航空輸送は高速で信頼性の高い移動手段として発展し、人・文化・情報の交流や物流を支え、国内外へ大きく広がっています。

その発着拠点である空港は、地域産業や文化交流を支えるだけでなく、災害時には輸送拠点として社会を支える重要な役割も担います。

こうした機能を成立させるのは、安全運航や定時制を確保した航空ネットワークの存在です。一方で、空港周辺では地域と調和し、共存するための環境整備も求められています。

私たち航空局は、航空機の安全運航に必要な施設整備、空港のアクセスやアメニティ向上など“利用者に優しく魅力ある空港づくり”を進めています。

その取り組みにより、「空の安全・安心の確保」「利用者利便の向上」という使命を果たしながら、航空輸送の発展を未来に向けて支え続けます。

未来を創る仕事へ。
空の安全とつながりを支え、

航空局の仕事に関心を寄せてくださる皆さんへ

まずは、私たちが向き合っている「空の仕事」に興味を持っていただき、ありがとうございます。

航空局は、「安全で、便利で、持続可能な空の交通を社会へ提供すること」を使命に、さまざまな取り組みを進めるために、色々な分野(職種)の職員が協力しながら仕事をしています。

私たちの役割は多岐にわたります。

- ・ 航空ネットワークの拡充とサービスの向上により、観光立国の推進や地域間交流の推進などによって、地域経済の活性化を促進
- ・ 航空交通の安全を確保するため、航空機などの検査・基準作り・管制や航空従事者の人材養成
- ・ 利用者が安心して、より便利に空を利用できる環境の整備

これらはひとつとして欠かせない、航空行政の中核をなす重要な使命であり、社会を支える基盤づくりそのものです。

未来の「空の安全」と「つながり」を、共に創る仲間へ

航空を取り巻く環境は、技術革新や脱炭素、需要構造の変化など、大きく変わり続けています。

また、私たち航空行政事務は、ミッションとビジョンを明確にして、人材育成と業務改善に取り組みながら改革を進めています。

このような変革期に皆さんの学びや経験は、航空行政に新たな価値をもたらします。

皆さんの新たな視点、柔軟な発想、そして挑戦する意欲で航空の未来と一緒に創っていきませんか。

航空局の仕事は、国家の根幹を支える公共性の高い分野であり、「一つの判断が、多くの人の安全と社会の動きに直結する」大きな責任とやりがいがあります。

面談や面接では、ぜひ皆さんの率直な思いや興味を聞かせてください。

最後に

採用選考の場では、「公共のために力を発揮したい」という意志と「学び続ける姿勢」を大切にしています。

皆さんとお会いし、日本の航空の未来を共に語れる日を楽しみにしています。

航空局総務課
職員管理室長

青木 善昭

PAGE INDEX

CIVIL AVIATION BUREAU
RECRUITING BOOK

03	航空局の組織・業務	07	先輩インタビュー	16	数字で見る航空局
05	キャリアパス	13	若手職員のホンネ	17	FAQ
06	組織配置マップ	15	全国転勤Q&Aガイド		

航空局【本省】

総務課

- 企画室
- 職員管理室
- 予算・管財室
- 危機管理室

- ・航空局の所掌事務に関する総合的な政策の企画及び立案並びに航空局の所掌事務に関する政策の調整
- ・航空局の所掌に属する国際関係事務の総括
- ・国際民間航空機関との連絡
- ・外国の航空政策及び航空事情に関する調査
- ・航空機の登録及び航空機抵当
- ・航空局の所掌に係る経費及び収入の予算、決算及び会計並びに会計の監査
- ・自動車安全特別会計の空港整備勘定の経理

航空ネットワーク部

航空ネットワーク企画課

- 空港業務調整室
- 空港経営改革推進室
- 航空戦略室

- ・航空ネットワーク部の所掌事務に関する総合調整
- ・航空ネットワークの形成及び充実に関する基本的な政策の企画及び立案
- ・航空運送の発達、改善及び調整
- ・空港等の運営の改善
- ・空港等の設置及び管理に関する事務のうち、空港等を活用した地域の振興
- ・空港等の周辺における航空機の航行により生ずる騒音等による障害
- ・空港等の設置及び管理

国際航空課

- ・国際航空運送の発達、改善及び調整
- ・外国人国際航空運送事業の発達、改善及び調整
- ・外国航空機の航行及び使用に関する許可
- ・航空に関する国際協定

航空事業課

- 地方航空活性化推進室

- ・航空に関する事業の発達、改善及び調整
- ・地域的な航空運送に係る事業の助成

首都圏空港課

- 成田国際空港企画室
- 東京国際空港企画室

- ・首都圏内の空港等の設置及び管理
- ・成田国際空港株式会社が行う石油パイプライン事業に関する許可及び認可
- ・成田国際空港の安全確保に関する緊急措置法の施行

安全部

安全政策課

- 乗員政策室
- 航空保安対策室

- ・安全部の所掌事務に関する総合調整
- ・航空の安全の確保に関する基本的な事項に係る企画及び立案
- ・空港等の安全の確保
- ・航空に関する危機管理に関する事務のうち、航空機の強取、破壊その他の航空に関する犯罪の防止のための対策に係るもの
- ・航空局の所掌に係る航空の安全に関する事務の運営に関する実況の監察及びこれに基づく改善事項の調査

無人航空機安全課

- ・無人航空機等の安全の確保
- ・無人航空機等の航行に起因する障害の防止

地方航空局【東京・大阪】

総務部

総務課

- ・庁舎管理、ネットワーク管理、秘書業務、所内の総合調整
- ・文書管理、マスコミ対応
- ・他課に属さない多岐にわたる業務

人事課

- ・職員の採用・退職、人事異動、人事評価、定員管理、栄典
- ・職員の給与計算、勤務条件、研修計画策定・実施
- ・職員の宿舎、健康診断、共済組合等の福利厚生

経理課

- ・予算管理、経費の支払、決算、監査

契約課

- ・工事等の発注に係る契約事務
- ・契約の技術的な事項に係る審査及び工事の検査

管財調達課

- ・国有財産の管理、処分、使用許可、営繕
- ・物品・機器・車両等の調達、管理、修繕、処分

地域航空事業課

- ・航空運送事業や航空機使用事業に関する事業認可
- ・航空事業者の運航計画・事業計画等の変更認可、定期検査の実施
- ・航空運送事業者の監督、旅客輸送実績の集計・分析・公表
- ・地域公共交通の確保・維持、離島航空路線の助成

安全企画・保安対策課

- ・航空機のハイジャック・テロ、航空機事故等への危機管理対策
- ・空港内の保安体制の維持、空港警備等の保安対策
- ・空港における地震・津波等の自然災害への防災対策

空港部

空港管理課

- ・公共用飛行場・ヘリポート等の設置許可、完成検査の実施
- ・航空機の運航に影響を及ぼす空港周辺の障害物件の監視・調査
- ・空港ターミナルビル内の構内営業の許可、構内営業者に対する指導
- ・空港内用地・建物の使用許可及び使用料の算定・通知
- ・空港運営委託（コンセッション）に係る事業実施方針、募集要項の公表等、事業継承に関する事務調整、委託後のモニタリング
- ・航空機騒音の監視、騒音値の集計、空港周辺住民への対応
- ・空港を利用した利用促進活動の支援
- ・空港利用者の利便性向上、空港ターミナル施設のバリアフリー化助成

補償課

※大阪航空局のみ

- ・空港周辺住民等への防音工事助成、民家移転補償、跡地整備
- ・土地の買収、使用及び空港周辺の障害物件の補償

保安部

運航課

- ・無人航空機の飛行に関する許可及び承認、安全審査に関する事務
- ・無人航空機の運航の安全、運航に関する監督に関する事務

空港事務所

総務課・会計課

- ・庁舎管理、ネットワーク管理、秘書業務、所内の総合調整
- ・文書管理、マスコミ対応、他課に属さない多岐にわたる業務
- ・職員の給与計算、勤務条件、研修計画策定・実施
- ・職員の宿舎、健康診断、共済組合等の福利厚生
- ・航空機の運航に影響を及ぼす空港周辺の障害物件の監視・調査
- ・空港ターミナルビル内の構内営業事務、構内営業者に対する指導（東京空港事務所、会社管理空港以外）
- ・予算管理、経費の支払、決算、監査
- ・工事等の発注に係る契約事務
- ・国有財産の管理、処分、使用許可、営繕
- ・物品・機器・車両等の調達、管理、修繕、処分
- ・空港内用地・建物の使用許可及び使用料の算定・通知

空港振興課

東京

- ・東京国際空港における空港ターミナルビル内の構内営業事務、構内営業者に対する指導
- ・空港等を活用した地域の振興

環境・地域振興課

東京・松山・福岡

- ・民家移転補償、跡地整備等に係る事務
- ・航空機騒音の監視、騒音値の集計、空港周辺住民への対応

空港出張所

空港・航空路監視レーダー事務所

航空交通管制部（東京・神戸・福岡）

総務課・会計課

航空保安大学校（本校・岩沼研修センター）

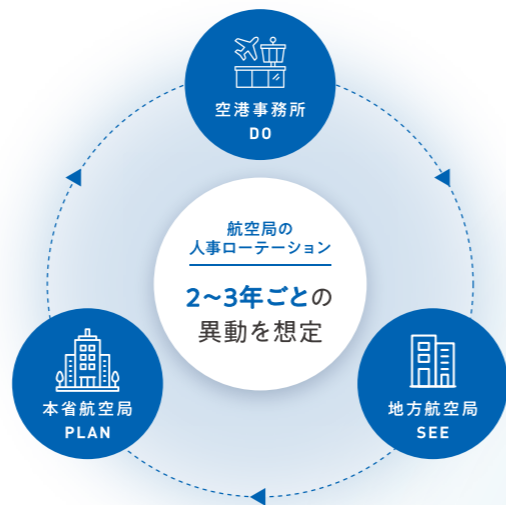
総務課・会計課・教務課

主な出向先組織

- 独立行政法人 航空大学校
- 独立行政法人 空港周辺整備機構
- 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
- 中部国際空港(株)
- 新関西国際空港(株) 等

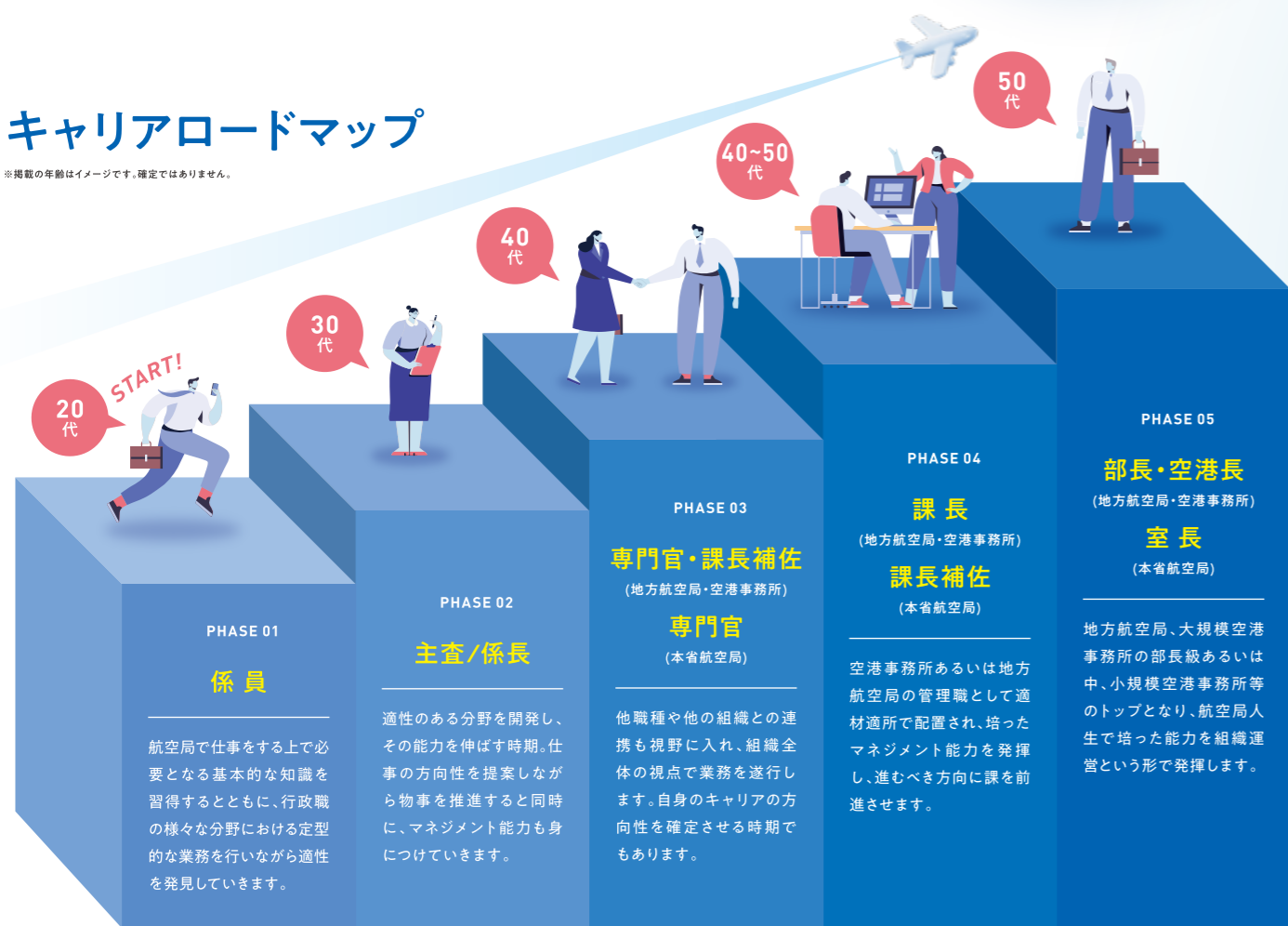
様々なポストでの経験が、キャリアという軌跡になる。

空港事務所や地方航空局で採用され、概ね2~3年ごとに異動し、様々なポストを経験していきます。各役職層で空港事務所→地方航空局→本省航空局といった人事ローテーションを基本としていることから、“Plan → Do → See”といった企画・立案側と実施・運用側の双方の業務を行えることも大きな魅力です。また、キャリアの途中で関連する空港会社や独立行政法人へ出向し経験を積むこともあります。意欲と能力次第で、地方航空局部長、空港事務所長等の幹部ポストへの道が開かれています。



キャリアロードマップ

※掲載の年齢はイメージです。確定ではありません。



航空事務職は霞ヶ関にある本省航空局、東京・大阪の地方航空局、その他全国各地にある空港事務所等で主に勤務しています。空港という非日常的な空間で航空機の離着陸を感じながらの業務は魅力的です。また、様々な地域での生活は、各地の文化や人々との出会いを通じて新たな発見をもたらしてくれるとともに、交友関係の幅も広がります。なお、定期的に勤務地に関する希望を提出する機会を設けており、希望については可能な限り配慮されています。

- 国管理空港 19箇所
- 会社管理空港 4箇所
- 地方航空局 2箇所

OSAKA 大阪航空局



TOKYO 東京航空局



📖 研修制度でしっかりスキルを磨ける!

航空事務職の研修体系

新規採用職員は採用後、5日間の新規採用研修及び現場でのOJTを通じて、必要とされる基礎的な知識全般やビジネススキルを学んでいただきます。その後、航空保安業務全般を集中的に学べる機会を提供し、体系的な知識付与を図ります。さらに、役職に応じた階層別研修や担当業務に応じた専門研修を受けながら、必要とされる知識を習得することで、それぞれの部署で活躍してもらうことを期待しています。



PICK UP 特徴的な空港をピックアップしてご紹介!



頭上スレスレ! 着陸機が迫る大迫力 大阪国際空港(伊丹空港)
「千里川土手」が隣接し、着陸する機体が頭上数メートルを通過する轟音と風圧は、他では味わえない圧倒的迫力です。



世界トップクラスのアクセス利便性! 福岡空港
福岡空港は、博多駅から地下鉄でわずか5分、という圧倒的なアクセスの良さと「駅チカ空港」と呼ぶにふさわしい空港です。



成長を続ける国際拠点 東京国際空港(羽田空港)
日本最大の国際線拠点です。物流・インバウンドの要として、空港周辺には巨大な経済圏が形成されています。



温泉も映画も! 遊べる北の巨大空港 新千歳空港
北海道最大の空の玄関口です。映画館や温泉、グルメ街などがそろう、一日中楽しめる複合施設型空港です。

難しいからこそ、おもしろい。
コンセッション業務という挑戦。

大阪航空局 空港部 空港経営改革調整室

米本 莉穂 Riho Yanemoto

Career Path

令和7年4月 採用

Voice of the employees 01

多様な人と関わりながら、
空港をトータルで支える。

福岡空港事務所
総務部総務課主査

杉田 昌之

Masayuki Sugita

Career Path

平成31年4月 採用(大阪航空局総務部人事課)
令和2年4月 熊本空港事務所総務課
令和4年4月 運輸安全委員会事務局総務課広報室
令和5年4月 航空局総務課職員管理室
令和7年4月 現職

Voice of the employees 02

私の仕事

コンセッション契約の承認・監督から地域活性化まで 空港経営改革の最前線

空港経営改革調整室では主に「空港運営の民間委託(コンセッション)」に係る業務を行っています。平成22年に「国土交通省成長戦略」が策定され、空港の民間委託の方向性が示されて以降、現在日本全国の19の空港にてコンセッションが行われています。コンセッションに期待されていることとして着陸料や施設利用料の引下による空港の利用促進、また空港利用者の増加に伴う空港周辺の地域の活性化などが挙げられます。

私が担当する業務はコンセッション契約に係る申請の承認手続きや空港運営が適切な水準で行われているかどうかの確認が主になります。また、局内の他部署やコンセッション空港を運営している民間事業者からの相談、問い合わせにも対応しています。コンセッション自体に対する理解や契約に関連する条文的解釈を考えることなど難しいと感じる点も多いですが、空港に関する知識を幅広く学ぶことができ、空港の発展を身近に感じることができることにやりがいを感じています。

Q 航空局へ入庁した理由を教えてください

「色々な空港に行ける」その一言が、入庁の決め手だった

公務員試験の合格発表後にあった合同説明会で航空局の紹介を聞き、初めて航空局の存在を知りました。官庁訪問の際に聞いた、仕事を通じて色々な空港に行く機会があるということに魅力を感じ、航空局で働くことを決めました。昨年、調査のためにコンセッション空港へ出張に行く機会があり、実際に普段の業務で関わりのある空港へ訪れることができたことはとても貴重な経験になりました。

Q 入庁をお考えの受験生へのメッセージ

コミュニケーションあふれる職場で、楽しく成長できる航空局

航空行政に携わることができるという点はもちろんですが、働き始めて感じたのはコミュニケーションが多く、アットホームな職場であることが航空局の魅力だと思います。まだまだ学ぶことが多いですが、周りの方々にたくさんのことを教えてもらいながら楽しく仕事できています。

航空局に興味を持たれた方は一度お話を聞いていただけたらと思います。皆さんと一緒に働くことのできる日を楽しみにしています!



私のオフタイム

休日はカフェやパン屋巡りを楽しんでいます!

食べるのが好きなので休日は近くのカフェに行ったり、パン屋めぐりをしたりしています。社会人になって一人暮らしを始めたので自炊も頑張ってみたり…今年はお菓子作りにも挑戦することが目標です!

職員のとある1日

One Day of Schedule

- 09:00 登庁、メールチェック



- 10:00 民間事業者からの問い合わせ対応
- 12:00 昼休憩(食費節約のためにお弁当を作っています)
- 13:00 他部署とコンセッション空港に係る打ち合わせ
- 15:00 コンセッション契約上の解釈について室内で議論
- 17:45 退庁(帰宅後は家でまったり)

私の仕事

管制塔からイベントまで 空港のすべてに関わる幅広い仕事

私が所属している福岡空港事務所総務課では主に庁舎管理や空港事業者等との調整業務を行っています。福岡空港では令和7年3月の滑走路増設に伴って庁舎が新築され管制塔の高さも従来の約3倍になりました。庁舎内には事務職以外にも、技術系の職員や航空管制官等空の安全を支えるたくさんの職員が在籍しており、様々な職種との職員と連携しながら管制塔も含めた庁舎の保全をしております。

また、空港全体を盛り上げる活動として、年に一度開催する「空の日」イベントの企画・運営をしております。福岡空港は運営権を民間へ委託するコンセッション空港で、空港ターミナルなどは空港運営事業者が運営していますが、「空の日」イベントは空港事務所が中心となり、ターミナル内でのイベントやバスツアー等の開催に向けて空港運営事業者を含めた空港関係者と打ち合わせをし、一丸となって来港者に楽しんでもらえるようなイベントづくりをしております。

これらのおり空港事務所では業務が多岐にわたりますが、その分枠に捉われない働き方ができるところに魅力を感じています。

Q 航空局へ入庁した理由を教えてください

交通インフラへの関心と職場の雰囲気が入職の決め手に

元々交通インフラに興味があったことがきっかけでした。航空政策から空港勤務といった特殊な環境での業務まで広範に関与できることは貴重な経験になると考えました。そのうえ、参加した説明会での雰囲気や印象深かったです。航空局職員は全国色々な場所での勤務経験をしており、初対面の人とコミュニケーションとる機会も多いことからそのような印象を抱いたのかと思います。どのような環境で勤務したいかということも志望する上で重要な要素になったと改めて感じました。

Q 入庁をお考えの受験生へのメッセージ

後悔のない進路選択のために、ぜひ説明会へ

みなさんはこれからの長い社会人生活を考えるうえで重要な分岐点に立っているかと思います。是非実際に説明会などに足を運んでいただき、航空局の業務についてはもちろん、職員の人となりなど文面だけではわからないような業務以外の部分についても聞いたり感じたりしてみてください。みなさまの希望される進路へ進んでいけることを心より応援するとともに航空局がその一つとなることを祈っております!



私のオフタイム

休日はグルメ三昧!全国各地の味を楽しめるのも、この職業ならではの魅力です!

休日は専ら食を楽しんでおり、ランチバイキングに行ってお腹がはち切れるほど食べることがしばしば…。また様々な勤務地で地元の料理・食材を調べて食べに行くなど、その土地ならではの良さを味わうようにしています。

職員のとある1日

One Day of Schedule

- 07:00 出勤(熊本から新幹線通勤)
- 08:30 勤務開始、メール確認
- 09:00 庁舎内改修工事の監督
- 11:00 職員からの問い合わせ対応
- 12:00 ターミナルビル従業員食堂で優雅にランチ
- 13:00 イベント開催にむけた会議



- 15:00 議事録等の資料作成
- 16:00 渉外対応(管制塔・庁舎内を案内)
- 17:15 退庁、博多でグルメ旅



空港の最前線で、
日本の航空を支える。

東京空港事務所総務部環境・地域振興課 Career Path
長谷部 遥基 Haruki Hasebe 令和6年4月 採用



制度を支える立場から、
仕事と家庭を両立する。

東京航空局 総務部人事課主査 Career Path
西 知里 Chisato Nishi
平成21年4月 採用(仙台空港事務所総務部総務課) 平成30年4月 東京航空局総務部人事課
平成22年11月 東京航空局総務部人事課 令和2年2月 育児休業(第二子)
平成24年4月 東京航空局総務部経理課 令和2年10月 東京航空局空港部空港経営改革調整室
平成25年3月 航空局総務課 令和3年4月 新千歳空港事務所総務部会計課主査
平成27年4月 航空局総務課管財補給管理室 令和5年4月 東京航空局総務部人事課主査
平成29年2月 育児休業(第一子)

私の仕事 空港内を回り続け、
空の安全を守る落下物対策の仕事

環境・地域振興課では、2020年から運用が始まった羽田空港の新飛行経路に関わる業務を所掌しています。多岐にわたる業務の中で、採用2年目の私は、落下物対策業務を担当しています。

落下物対策と聞いてあまりイメージがつかないかもしれませんが、航空機を運航するにあたっては国・メーカー・航空会社が一丸となって安全対策を実施していて、その一環で、航空機からの部品欠落を予防するため、駐機場にて運航の合間に機体をチェックしています。毎日空港内を回って年間1,300機程度の機体チェックを抜き打ちで実施していて、日々緊張の連続です。

その他にも、空港の重要性をアピールする仕事として空港見学会やイベント出展等の地域振興業務や環境対策業務、課内の庶務業務も併せて担当しています。

日本を代表する羽田空港で航空行政に携わっていることに強くやりがいを感じると同時に、安全対策の担当者として責任を持って日々仕事をしています。

Q 航空局へ入庁した理由を教えてください

航空行政を通じ、日本の航空の発展に貢献したい

もともと管制系の職種に興味があり、官庁訪問で航空局を訪問するのがきっかけです。業務説明を受け、航空行政業務を通じて、日本の航空分野の成長を手助けできる点に魅力を感じ入庁を決めました。また、空港勤務に憧れがあったこともあり、航空機を間近で感じながら働けるという点も決め手の一つでした。

現在の仕事は特に航空行政の最前線の業務でもあり、航空の安全を支えているという使命感を感じられる点も航空局の魅力ではないかなと思っています。

Q 入庁をお考えの受験生へのメッセージ

空港に興味があれば、ぜひ一度航空局へ

この文章を書いていて就活生時代の「官庁訪問先の迷い」や「実際に働くことへの不安」といった記憶が鮮明に蘇ってきました。航空局は空港という非日常的な場所で働けるかつ、縦横どちらの関係も良くて、非常に働きやすい職場だなと自信を持ってお勧めできます。少しでも空港や飛行機に興味があればぜひ業務紹介だけでも足を運んでいただけたら嬉しいです。航空業界を支える“翼”として、航空局の一翼を担っていただけませんか？



私のオフタイム

憧れのドラム演奏に挑戦！オフタイムは音楽ライフを満喫！

音楽が好きだったこともあり、学生時代から憧れていたドラム演奏を最近新しく始めました。思っていたよりも奥が深い楽器で、目標曲を演奏できるように仕事終わりや休日を活用して日々練習しています。いつか他の楽器にも挑戦したいです！

職員のとある1日
One Day of Schedule

- 09:00 登庁、メールチェック
- 09:30 当日のフライトスケジュール確認→チーム内で情報共有
- 10:00 機体チェック実施



- 12:00 お昼休み (自席でお弁当食べたり、先輩とターミナルのお店に行ったり)
- 13:00 再度フライトスケジュール確認→機体チェック実施
- 16:30 部品欠落報告等の取りまとめ
- 17:45 退庁 (帰宅し自炊したり、音楽スタジオに寄ったり)

私の仕事 全職員に関わる勤務時間・休暇制度を担当し、
より働きやすい職場づくりを支える

現在は、東京航空局人事課で勤務時間・休暇制度に関する業務を担当しています。近年は職員のワークライフバランス推進などもあり、ここ数年で非常に柔軟な制度に変化してきました。それらの制度内容の周知や、様々なお問い合わせ等への対応をしています。勤務時間・休暇制度は全ての職員に関わりのある制度のため、自分事になることも多く、現在の業務はとても身近なものに感じています。

私自身の勤務については、フレックスタイム制とテレワークを組み合わせ、仕事と家庭を両立することができています。朝、子どもたちが起きる前の時間を活用してテレワークを開始し、子どもたちが起きる頃には1回目の休憩時間、朝食や身支度を済ませて、保育園に送った後に勤務を再開し、お昼に2回目の休憩時間をとり、子どもの習い事がある日は早めに退勤…といったように、制度をフル活用して乗り切っています。周囲にも、フレックスタイム制を活用してプライベートを充実させている職員が多く、それらの制度の活用に理解のある職場だと感じています。

Q 航空局へ入庁した理由を教えてください

旅行好きがきっかけで、公務員として航空分野へ

元々旅行が好きで、交通・観光分野に興味がありました。と云っても就職先の分野は特に絞っていませんでしたが、官庁訪問を実施している官庁リストに東京航空局があり、公務員として航空分野に携わることができるという点に興味を持ち、官庁訪問においても魅力を感じたため志望しました。年齢が離れていてもフランクに接して下さる方が多く、入庁前に抱いていたイメージよりも、実際の方が風通しの良い職場と感じています。

Q 入庁をお考えの受験生へのメッセージ

幅広い業務と人との出会いがある職場です

航空局には多くの部署があるため、幅広い業務を経験したい方や、多くの人と関わりながら仕事をしたいという方におすすめです。「飛行機が好き」「空港が好き」「航空業界に興味がある」など、少しでも航空分野に魅力を感じていただけるポイントがありましたら、ぜひ官庁訪問等で航空局の雰囲気をぜひ感じ取っていただけたらと思います。皆さんにお会いできる日を楽しみにしています！



私のオフタイム

家族との旅行が、いちばんの気分転換

日常的にはどうしても家事・育児が優先となる日々ですが、旅行が好きなので、気分転換に家族旅行を計画することもあります。北海道に赴任していた頃、道内各地を旅行したことも家族の良い思い出となっています。

職員のとある1日
One Day of Schedule

- 05:30 始業(テレワーク開始) メールチェック・課内職員の勤怠管理業務等
- 07:00 休憩時間 子どもたちの食事準備・保育園への送迎
- 08:30 業務再開 資料作成・問い合わせ対応等



- 12:00 休憩時間 昼食が早く済んだら、夕食の下準備をすることもあります。
- 12:30 業務再開 午前の業務の続きに加え、オンライン研修等への参加もあります。
- 17:00 終業(テレワーク終了)

調整の先にあるのは、
日本の航空の未来。

航空局航空ネットワーク部航空事業課
佐々木 彩楓 Ayaka Sasaki
Career Path
令和6年4月 採用



Voice of the employees 05

見えない数字の先で、
日本の空の安全と
発展を支える。

航空局
予算・管財室使用料算定係長
大島 圭雄 Keiyu Oshima
Career Path
平成28年10月 採用(東京空港事務所総務部業務課)
平成30年1月 東京航空交通管制部会計課
平成31年4月 航空局予算・管財室
令和元年10月 航空局総務課
令和3年4月 航空局総務課管財補給管理室
令和4年4月 航空大学校事務局
総務課学生支援係長(仙台分校)
令和5年9月 東京空港事務所総務部総務課主査
令和6年10月 現職



Voice of the employees 06

私の仕事 航空会社と国をつなぎ、日本の航空政策を動かす
企画担当

航空事業課は、日本の航空会社が事業を行うために必要な審査やサポート、監督を担う部署です。私はその中で、資料作成や関係部署・事業者との調整といった企画的な役割を担当しています。主な業務としては、局内外からの依頼への対応や、政策を政府文書へ反映させるための調整などを行う企画窓口業務があります。また、国会対応も重要な役割で、質問通告を受けてから限られた時間の中で答弁案を作成し、課内・局内・省内の了を取っていくため、スピードと正確さが求められる緊張感のある業務です。さらに、現在厳しい経営環境に直面している航空会社の経営動向を把握するため、四半期ごとの決算説明の調整や情報整理を行っています。加えて、2025年に立ち上げた「国内航空のあり方に関する有識者会議」の運営も担当し、日程調整や会場準備、プレスリリース、議事録作成など多岐にわたる業務を担っています。会議の内容は専門的で難しい部分もあり、それらを理解しながら業務に携わることは大変ですが、局としての重要政策に関わる貴重な経験となっています。

Q 航空局へ入庁した理由を教えてください

公共性の高い航空分野を、国の立場で支えたい

空港は、新しい生活や旅の出発点として、人々に希望や高揚感をもたらす特別な場所だと感じています。その空港という空間が好きで、以前から航空業界に関心を持っていました。数ある交通モードの中でも、航空はその規模の大きさゆえに国の果たす役割が非常に大きく、公共性の高いこの分野を支える側に立ちたいと考えました。さらに、本省・地方航空局・空港事務所、政策から現場まで幅広いフィールドで経験を積めるという点にも魅力を感じ、航空局を志望しました。

Q 入庁をお考えの受験生へのメッセージ

「ここで働きたい」と思える出会いを大切に

就活中の皆さんが正直一番気になるのは、「職場の雰囲気」ではないでしょうか。そんな方はぜひ、採用イベントに参加してみてください！私は航空局のイベントに何度か参加する中で、「こんな人たちと一緒に働きたい」「ここなら頑張れそう」と感じました。そして実際、やさしく見守り、支えてくれる同僚に囲まれて仕事できています。そんな航空局で、将来皆さんと一緒に働ける日を楽しみに待っています！

職員のとある1日
One Day of Schedule

- 09:30 業務開始、メールチェック
- 10:30 有識者会議 課内定例ミーティング
- 12:00 お昼ごはん (他省庁の食堂に行くことも！)



- 13:00 局内からの依頼対応、資料作成
- 16:00 有識者会議委員へ日程調整の連絡
- 17:00 議事録作成
- 19:00 退庁

私の仕事 膨大な航空運航を数字で支え、
日本の空港インフラを陰から守る

航空機の使用者は、国が管理する空港を使用する際に着陸料・停留料・保安料(これらを「着陸料等」と総称しています。)を支払います。また、レーダーや無線設備、管制通信施設などの航行援助施設の使用対価として「航行援助施設利用料」を支払います。私の業務は、運航データ等をもとに、国に支払うべきこれらの料金を正確に算出し、航空機の使用者へ請求することです。

日本の空港には、1日約3,500回の航空機が着陸しています。その膨大な運航を対象に、毎月約800者以上の使用者の料金を算出しており、総額は月に約200億円に上ります。料金算出のためには、航空局内の他セクションとの綿密な連携はもちろん、国際線運航に関しては海外関係者と英語で調整する場面もあります。「着陸料等」や「航行援助施設利用料」は、空港の維持管理を支える重要な財源です。迅速かつ正確な算出が求められる責任の大きい仕事ですが、日本の航空ネットワークを陰から支えているという実感が、大きなやりがいにつながっています。

Q 航空局へ入庁した理由を教えてください

人と人をつなぐ空港の仕組みづくりに携わりたい

東京航空局の説明会に参加した際、人事課の職員が「空港や航空機は人と人をつなげるためにある」と話していたことが強く印象に残っています。私自身、これまでの人生で、多くの人のつながりに支えられて成長してきました。だからこそ、空港や航空機を単なる移動手段ではなく、誰からも親しまれ、人と人をつなぐ存在であり続けられるよう、その仕組みづくりに携わりたいと考え、東京航空局を志望しました。

Q 入庁をお考えの受験生へのメッセージ

航空の最前線で、非日常を体感しながら成長できる

航空局の魅力は、航空の最前線を身近に感じられる点にあります。滑走路脇で体感する航空機の迫力、管制塔からの眺望、パイロット候補生が操縦する航空機へ搭乗するスリル(?)など、日常では得られない体験に囲まれて業務を行います。日々の仕事を通じ、成長を実感できる場面も多くあります。日本の空の安全と発展を支える航空行政の現場に興味を持った方は、ぜひ前向きな気持ちで挑戦してみてください。

職員のとある1日
One Day of Schedule

- 09:30 出勤、メールチェック
- 10:00 航空会社からの届出内容を確認



- 11:00 班内ミーティング
- 12:00 昼食
- 13:00 航空会社からの届出内容を確認
- 15:00 システム保守業者と打合せ
- 16:00 着陸料に関する調査対応
- 18:15 退庁



私のオフタイム

同期や友人と、都会ライフを楽しむ休日

休日は同期や先輩、友人と出かけたり、1人でカフェ巡りや買い物を楽しんだりしています。異動した先輩に会いに行くこともあり、大阪万博へ一緒に出かけたことも。上京を機に、都会ライフを思い切り満喫しています！



私のオフタイム

休日は散歩とスポーツでしっかりリフレッシュ！

仕事中は座りっぱなしのため、休日は外に出てリフレッシュすることが多いです。最近引越したばかりなので、妻と近所を散歩したり、友人とスポーツを楽しんでいます。心身をリセットすることで、次の仕事にも前向きに取り組んでいます。



Voice 01

航空局を志望した理由は？

A 航空業界を国からのアプローチで支えたいと思ったからです！

旅行の際に利用する空港の雰囲気が好きで、将来は何かの形で航空業界に携わりたいと考えていました。航空業界には様々な立場がありますが、企業視点だけではなく多角的な視点から航空の安全や仕組みを支えることができる航空局の役割に魅力を感じました。また、航空局は組織の内部管理から航空行政まで業務の幅が広く、常に航空に関する知識を吸収することができるこの環境で働きたいと考え志望しました。就職活動時、参加した座談会でお話した職員の方々の雰囲気がとてもよく、「一緒に働きたい」と思えたことも志望を決めた理由の一つです。

一緒に働ける日を楽しみにしています！



西山 朋花
令和6年度 入庁



Voice 02

入庁前、入庁後の一番のギャップは？

A デスクワークだけではない様々な業務がありました！

官庁訪問の際に色々と質問をしていたので、入庁後に大きなギャップを感じることはありませんでした。ただ、部署にもよりますが、全国各地の空港に出張に行ったり、官用車で空港の場内に立ち入りする機会などもありますので、Theデスクワークというイメージを持っていた場合はギャップに感じることもあるかもしれません！



長谷川 楓
令和6年度 入庁

特殊な経験も魅力ですね！



Voice 06

有給休暇ってほんとに取れる？

A もちろん、取れます！

航空局は旅行好きの職員が多く、週明けや連休明けにはどこどこに行ってきたよ～みたいな話が日々繰り広げられています(笑)執務室に職員からのお土産コーナーがあるので、自分が旅行に行かなくても全国各地のお土産を味わえたりします！



山口 さくら
令和6年度 入庁

有給休暇で旅行に行くことが楽しみです！



Voice 07

採用面接の対策はどんなことをした？

A やっぱり実践練習あるのみ！！

面接では相手に自分の意図を的確に伝えることが一番大事。自己分析や想定問答をまとめることももちろん重要ですが、どんなに良いモノを持っていても相手に伝えられなければ自分の負けと思っていました。なので、自分は自己分析をほどんどに早めに実践練習に移りました！

自分は緊張しいなので、回答を準備していてもいざ質問されると頭が真っ白になったり、話している途中で着地点を見失うなどなど、当初は特に散々でした(笑)

ただ、回数を重ねる毎に脳に余裕が出て、少し捻った質問にも自分の持ち札で柔軟に回答できるようになったことを覚えています。他にも友人から指摘を受けて表現を変えた言葉もあり、アウトプットの重要性を痛感しました。

ぜひ皆さんもキャリアセンターや学校の先生、友人と一緒にたくさん面接練習してみてください！



金子 大夢
令和5年度 入庁



Voice 08

航空局で働く推しポイントは？

**A インフラを支えているという達成感！
あと、ここだけの話…**

日常業務においても、国民の生活に必要な不可欠な航空インフラを支えているということを実感できますし、プライベートで空港を利用する際にも、ちょっと鼻が高かったりします(笑)また、空港レストランでは空港関係者専用のメニューが利用できることもあります！



飯田 かれん
令和6年度 入庁

若手職員に聞く！

ここだけの

ホンネ

職場の雰囲気や有給休暇、面接の対策など。ここでは、先輩たちが話してくれたリアルな声をそのままお届けします！



Voice 04

やりがいを感じるのはどんな時？

A 若手から責任ある仕事を任せられ、航空の安全・安心を支えていると実感できる時。

現在、大阪航空局総務部地域航空事業課に所属しており、「航空運送事業」「航空機使用事業」の許認可業務や相談対応、航空運送事業者に対して定期的な立入検査を行っています。

若手のうちでも新規航空運送事業の立ち上げに携わったり、打ち合わせなどで事業者に対して適切な指導や助言を行ったりと活躍できる場面が多くあります。年齢を問わず常に責任感を持ちながら業務を行うことができ、また業務を通じて航空運送の安全・安心の確保の一端を担っていることに大きなやりがいを感じます。

若手でも様々な業務を経験できます！



中本 翔大
令和4年度 入庁



Voice 05

入庁前に戻れるなら、何を準備する？

**A 入庁前の準備は不要！
ただ1つだけ挙げるなら…**

入庁前に戻れるなら、特別な資格取得や準備よりも、飛行機に乗って旅行に行きたいです。航空局に入庁したら、空に最も近い国家公務員として働くこととなります。飛行機に乗って、各地の空港や街の雰囲気を実際に感じることは、航空局で働く上できつと役に立ちます！また、PCスキルに不安がある方でも入庁後にMicrosoft Office研修を受けられますのでご安心ください！



Voice 09

仕事終わりは何をしています？

**A 仕事も全力、趣味も本気！
新しい環境で充実するプライベート**

仕事終わりは、社会人のバスケットボールサークルに参加しています。転勤先の知らない土地でも、バスケットボールを通じて人とのつながりができ、新しい環境にもすぐになじめました。練習は基礎からゲーム形式まで本格的で、週に数回しっかり汗を流しています。大会にも参加しており、転勤先で知り合った仲間と目標に向かって取り組む時間が良い刺激になっています。仕事が終わったら気持ちを切り替え、全力で体を動かすことで心身のリフレッシュにもつながっています。ガチでバスケットボールを楽しみながら、仕事もプライベートも自分のペースで両立できていると日々感じています！たまに午後休やフレックスを活用して早く仕事を切り上げて参加することも…(笑)

プライベートの充実が業務にも活かされるかも！



高倉 英寿
令和4年度 入庁



Voice 10

就活生に「これだけは伝えたい」本音のメッセージは？

A 多くの官庁を訪問して、自分に一番合う職場を選んでください！

公務員試験を受験していると、正直、どの官庁に行きたいか最後の最後まで迷われると思います。ただ、一度就職をすると基本的には数十年間働き続けることとなります。今後、後悔することのないよう、なるべく多くの官庁に訪問し、業務内容、職員の雰囲気、職場環境などを見て感じとってもらい、自分に一番びったり合うと思った官庁を選んでほしいと思います。その中で、航空局に興味を持たれた方がいらっしゃいましたら、一緒に働ける日を心より楽しみにしています！

全国転勤 Q&Aガイド



全国転勤は不安よりも、新しい出会いや経験が広がるチャンス! 知らない土地での暮らしは、視野を広げ、自分自身を成長させてくれます。
転勤に関する疑問やリアルな声を、Q&A形式でまとめました!

Q01. 配属先や転勤は?

A 本人の希望と事情を考慮した配属・異動です

新規採用時の配属先は原則として地方航空局や各地の空港事務所等になりますが、本人希望を確認し、本省航空局(霞ヶ関)に配属されることもあります。配属部署は概ね2年程度で変わりますが、同じ官署内や近隣官署への異動もありますので、必ずしも人事異動の度に転居を伴うという訳ではありません。毎年、異動に関する本人希望を確認、面談などを行い、個人の事情を考慮しています。

Q02. 住まいや引越費用はどうしている?

A 全国に宿舍が整備されており、引越し費用は全額支給です!

各勤務地の近くに国家公務員宿舍が整備されているので、転勤になって住むところが見つからないということはありません。また、転勤時には引越費用は全額支給されますし、転勤に伴って単身赴任の必要が生じた場合は単身赴任手当が支給されます。



Q03. 全国転勤だからこそ得られる楽しみはありますか?

A 働きながら、日本各地の「暮らし」を楽しむ!

観光ではなく実際に暮らすことで、その土地の良さをじっくり楽しめるのが全国転勤の魅力です! 転勤がなければ訪れなかった街で、地元の人におすそめを教えてもらったりして、「来てみてよかった!」と思える瞬間がたくさん。私は職場の同僚と一緒に、その土地ならではのグルメを堪能しています!



Q04. 家族や友人と離れることに不安はありませんでしたか?

A 自由に帰省ができるので不安はありません

最初は多少の不安もありましたが、空港事務所勤務の場合は、仕事終わりにそのまま飛行機に乗って地元に戻ったり、友人に会いに行ったりすることが出来ます。ご当地のお土産を買って帰ったり、現地に遊びに来てもらって観光案内をするなど、家族や友人にも楽しんでもらえていると思います!

Real Voice / 転勤経験者の声

不安で始まった転勤ですが、今ではかけがえのない財産となっています!

入庁当初は、転勤があることについて深く考えすぎることではなく、どのような環境でも前向きに挑戦できるだろうと考えていました。しかし、実際に関西から東京への転勤が決まると、生活環境の変化に加え、コロナ禍による働き方の変化や結婚を考えるタイミングとも重なり、仕事とライフイベントの両立に多少なりとも不安を感じたのも事実です。

一方、東京での勤務経験は、今でも交流が続く上司や同僚と出会い、業務面だけでなく人とのつ

ながりの大切さを学ぶ、非常に有意義な経験となりました。その後、ライフイベントの変化がありましたが、人事の配慮により関西での勤務が叶い、退職することなく働き続ける選択ができました。現在は出向先である新関西国際空港株式会社に勤務しながら、産休・育休を経て復職し、職場の方々と家族のサポート・配慮に支えられながら、仕事と家庭の両立ができています。



元気いっぱいのわが子の成長が楽しみです!
新関西国際空港(株) 総務部総務課
村上 真子
(平成29年度入庁)

現在の航空局のありのままの姿を数字とグラフィックでご紹介します!

国内航空旅客数

約1億人

(令和6年度実績)

年間1億人が空を旅する日本で、その安全と快適さを守っているのが航空局です。離陸の瞬間から着陸まで、見えないところで積み重ねられる管理と整備の積み重ねが、国内航空旅客数1億人という数字を支えています。

年間離着陸回数

100万回以上

年間100万回以上の離着陸を支えるのは、積み重ねられた安全管理の仕組みです。

国内空港数

97箇所

(令和8年1月時点)

北から南まで、全国97の空港をつなぐネットワークを、航空局が支えています。

日本の登録航空機数

1,313機

(令和6年末実績)

航空行政を支える国家公務員の総数

6,000人以上

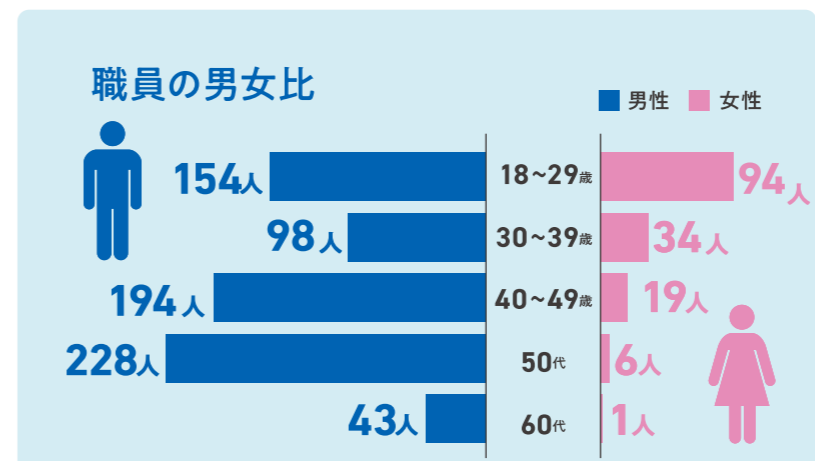
(令和8年1月時点)

航空局全体 6,547人
うち事務職員数 871人

育児休業取得率

100%

女性職員はもちろん、男性職員も育児休業取得の実績があります!



年次休暇取得日数

16.46日

(令和7年実績)

年次休暇を活用して旅行を楽しむ職員も少なくありません。全国各地のお土産が事務所に並ぶ光景は、空と旅に近いこの仕事ならではの姿です!

受験生の皆さんからよくいただくご質問をまとめました。

Q.01

求める人材を教えてください。

日々発展する航空を取り巻く環境の変化に迅速に対応できる「応用力」、航空局ならではの多様な職種の間と協調できる「コミュニケーション能力」、どのような仕事にもポジティブに取り組むことができる「前向き力」を持っている人を求めています。

Q.03

英語や特別な知識・資格は必要ですか？

航空局の行政職として勤務するうえで、英語力や特別な知識・資格は必須ではありません。ただし、英語力については、本省航空局の一部の部署（国際航空関係を担当）では、相応の英語力が必要になりますので、ポストによっては語学スキルを活かした仕事に携わることも出来ます。

Q.04

勤務時間について教えてください。

1日の勤務時間は7時間45分です。空港事務所の職員の勤務時間は原則、8時30分～17時15分（昼休憩12時～13時）とされています。本省や地方航空局の職員の勤務時間は「通勤のため利用する交通機関が著しく混雑する地域に所在する庁舎」として「時差出勤」を行うことが可能とされており、8時30分～17時15分以外にも、9時00分～17時45分（昼休憩12時～13時）の勤務時間の設定が可能となっています。上記以外にも、フレックスタイム制を活用すれば、柔軟な勤務時間の設定が可能です。また、事務職は土日・祝日は休みで夜勤はありません。

●1日のスケジュールの一例



Q.02

空港事務所はどこにあるのが教えてください。

空港に行くときターミナルビルの近くに管制塔と呼ばれる縦長の細長いタワーがあります。大体の空港事務所は、タワーに隣接した庁舎の中にあり、そこで航空局の職員が勤務しています。庁舎からは、滑走路や駐機場の航空機が間近に見え、街中とは異なり非日常的な空間で働くことができます。



Q.05

テレワーク制度やフレックスタイム制について教えてください。

テレワーク制度とは、職場PCを持ち帰って自宅で勤務をすることが出来る制度です。この制度は場所と時間にとられない柔軟な働き方であり、ワークライフバランスの確保のみならず、限られた時間の有効活用や生産性の向上など様々なメリットがありますので政府全体として推進されています。航空局では今後の“当たり前の働き方”としてテレワークの実施を推奨しています。フレックスタイム制とは、1月の総勤務時間を変えずに、日によって始業・終業時刻や1日あたりの勤務時間を変えることができる制度の事です。フレックスタイム制を活用することで、通勤時の満員電車を避けたり、子供の保育園の送迎時間帯を避けるなど、柔軟な勤務時間の設定が可能となっています。

Q.07

休暇制度について教えてください。

年次休暇は年間20日間（4月採用の場合は15日間）付与されます。特別休暇は、結婚・出産・育児などのライフイベントに応じて取得可能な休暇や、7月～9月に連続した3日間取得可能な夏季休暇などがあります。その他にも状況に応じて、病気休暇や介護休暇、育児休業の取得が可能です。また、航空局では職員が生活を楽しめ、仕事と家庭を両立しやすくなるよう「ワークライフバランスの推進」に積極的に取り組んでいます。

Q.06

残業や休日出勤はありますか？

残業の有無や量は部署や時期によって異なりますので一概には言えませんが、業務の都合上残業をしなければならないこともあります。残業をした場合には、残業時間に応じた超過勤務手当が支給されます。また、部署によっては休日出勤をしなければならない時もありますが、そのような場合には振替休日が取得できますのでご安心ください。その他、育児のため超過勤務や深夜勤務を免除する制度もあります。

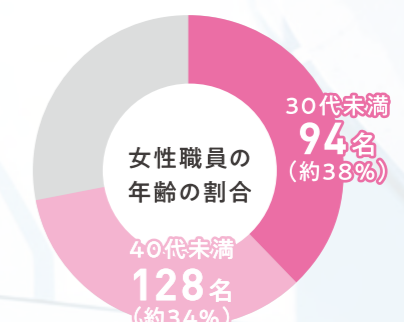
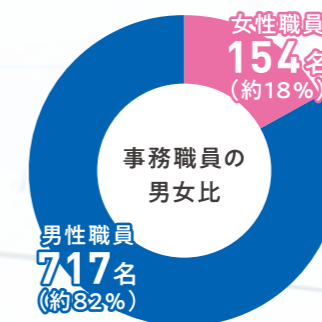
主な取り組み

- **ポジティブ・オフ**
月1回の年次休暇取得の取得促進する取り組みです。
- **夏季長期休暇**
1週間以上の夏季長期休暇の取得促進する取り組みです。
- **出産・育児に係る取り組み**
職員の出産・育児に係る育児休業及び特別休暇の取得を促進しています。

Q.08

女性職員のキャリアについて教えてください。

事務職の職員871名のうち、154名（約18%）の女性職員が活躍しています。（令和8年1月現在）



近年では女性の新規採用職員数も増加傾向にあり、航空局でも女性職員の活躍に期待する声が高まっています。また、勤務地については、結婚・出産・育児などの事情を配慮しています。出産後は育児休業を子が3歳に達する日まで取得可能となっており、育児に関連した特別休暇も充実しているため、様々なケースに応じて休暇を取得することが出来るなど、サポート体制が整っています。航空局では、ほとんどの女性職員が結婚・出産後も退職することなく、仕事と家庭を両立し安心して働き続けています。